

令和 4 年 6 月 1 日

第 4 次尾瀬総合学術調査報告書に 尾瀬地域における 893 種類の植物が生育 (そのうち絶滅危惧種は 160 種類) を報告

第 4 次尾瀬総合学術調査の一環として、現地調査および標本調査により尾瀬の維管束植物目録が作成され、893 種類 (834 種 7 亜種 34 変種 18 雑種) が確認されました。このうち絶滅危惧種は 160 種類に達し、尾瀬が保護上重要な植物の集中地域 (生物多様性ホットスポット) であることが改めて確認されました。25 種類の帰化植物も確認され、そのうち 12 種類が生態系への被害が心配される侵略的外来植物で、外来植物の現状把握と継続的な対策が必要であることが示されました。これらの結果は、共生システム理工学類の黒沢高秀教授らが、北海道大学低温科学研究所が発行する学術雑誌『低温科学』で発表しました。

尾瀬は国立公園特別保護地区および国の特別天然記念物に指定され、ラムサール条約にも登録されている本州最大の湿原です。明治時代のナガバノモウセンゴケやオゼソウなどの発見により貴重な植物の生育地として注目され、オゼキンポウゲ、オゼヌマアザミなど尾瀬の名前のつく植物が多く発表されたことでも知られています。尾瀬総合学術調査 (1950 -1953 年) と第二次尾瀬総合学術調査 (1977 -1979 年) に植物相に関する精力的な調査が行われ、尾瀬の維管束植物目録が作成され、724 種類の植物が報告されました。しかし、その後は約 40 年間、尾瀬の植物相に関する網羅的な学術調査が行われていませんでした。

第 4 次尾瀬総合学術調査 (2017 -2019 年度、団長坂本充名古屋大学・滋賀県立大学名誉教授) の調査の一環として、福島大学、群馬県立自然史博物館、新潟大学、東京大学、国立科学博物館、神奈川県立生命の星・地球博物館、千葉県立中央博物館、福島県と群馬県の地元の研究者による研究チームが、現地調査および標本調査により、証拠標本にもとづく確実に尾瀬に生育する維管束植物の目録を作成しました。それにより、尾瀬に 893 種類 (834 種 7 亜種 34 変種 18 雑種) の維管束植物が生育していることを明らかにしました。このうち、これまでの総合学術調査で記録のないものは 197 種類 (163 種 4 亜種 20 変種 10 雑種) で、ミヤマトキソウ、チチッパベンケイソウなど 63 種類 (46 種 2 亜種 10 変種 5 雑種) は、今回尾瀬からの初報告です。

今回確認された 893 種類のうち、絶滅危惧種は 160 種類に達し、尾瀬が保護上重要な植物の集中地域 (生物多様性ホットスポット) であることが改めて確認されました。特に貴重な植物としては、キタダケデンダ、トラキチラン、ヤチラン、ハラユヌノヒゲ、オクタマツリスゲ、ヤマオオウシノケグサ、ツルケマンが挙げられます。

尾瀬には 25 種類の帰化植物も確認されました。そのうち 12 種類が生態系への被害が

心配される、環境省および農林水産省が作成した「生態系被害防止外来種リスト」に掲載されている侵略的外来植物でした。尾瀬では既に水生外来植物のコカナダモが尾瀬沼で繁茂していることが大きな問題となっています。多くの侵略的外来種が確認されたことから、外来植物の現状把握と継続的な対策が必要であることが示されました。

これらの結果は、北海道大学低温科学研究所が発行する学術雑誌『低温科学』で発表されました。

【論文情報】

論文名：1950 -1953 年の尾瀬ヶ原総合学術調査研究以後の尾瀬における植物相研究史
著者：大森威宏（群馬県立自然史博物館主幹）、黒沢高秀（福島大学共生システム理工学類教授）

掲載誌：低温科学 80 巻 163-173 ページ

DOI: 10.14943/lowtemsci.80.163

印刷版の出版日：2022 年 3 月

論文のウェブページ

https://eprints.lib.hokudai.ac.jp/dspace/bitstream/2115/85004/1/11_p163-173_LT80.pdf

論文名：尾瀬産維管束植物相とその再検討

著者：大森威宏（群馬県立自然史博物館主幹）、黒沢高秀（福島大学共生システム理工学類教授）、志賀隆（新潟大学教育学部准教授）、薄葉満（福島県いわき市）、根本秀一（東京大学大学院理学系研究科附属植物園特任研究員）、吉井広始（群馬県高崎市）、海老原淳（国立科学博物館植物研究部陸上植物研究グループ研究主幹）、田中徳久（神奈川県立生命の星・地球博物館動物・植物グループ学芸部長）、天野誠（千葉県立中央博物館植物学研究科上席研究員）

掲載誌：低温科学 80 巻 175-197 ページ

DOI: 10.14943/lowtemsci.80.175

印刷版の出版日：2022 年 3 月

論文のウェブページ

https://eprints.lib.hokudai.ac.jp/dspace/bitstream/2115/85003/1/12_p175-197_LT80.pdf

論文名：尾瀬の維管束植物目録の見直し

著者：大森威宏（群馬県立自然史博物館主幹）、黒沢高秀（福島大学共生システム理工学類教授）、志賀隆（新潟大学教育学部准教授）、薄葉満（福島県いわき市）、根本

秀一（東京大学大学院理学系研究科附属植物園特任研究員） 吉井広始（群馬県高崎市） 海老原淳（国立科学博物館植物研究部陸上植物研究グループ研究主幹） 田中徳久（神奈川県立生命の星・地球博物館動物・植物グループ学芸部長） 天野誠（千葉県立中央博物館植物学研究科上席研究員）

掲載誌：低温科学 80 巻 199-223 ページ

DOI: 10.14943/lowtemsci.80.199

印刷版の出版日：2022 年 3 月

論文のウェブページ

https://eprints.lib.hokudai.ac.jp/dspace/bitstream/2115/85002/1/13_p199-223_LT80.pdf

論文名：尾瀬沼及び周辺湿原の大型水生植物相

著者：薄葉満（福島県いわき市） 志賀隆（新潟大学教育学部准教授） 加藤将（新潟大学教育学部特任准教授） 黒沢高秀（福島大学共生システム理工学類教授） 根本秀一（東京大学大学院理学系研究科附属植物園特任研究員） 緑川昭太郎（新潟大学大学院自然科学研究科学生） 山ノ内崇志（福島大学共生システム理工学類特任助教） 大森威宏（群馬県立自然史博物館主幹）

掲載誌：低温科学 80 巻 225-235 ページ

DOI: 10.14943/lowtemsci.80.225

印刷版の出版日：2022 年 3 月

論文のウェブページ

https://eprints.lib.hokudai.ac.jp/dspace/bitstream/2115/85001/1/14_p225-235_LT80.pdf

本研究は第 4 次尾瀬総合学術調査（FY2017-2019）の一環として、環境省の生物多様性保全推進支援事業費によって行われました。

（お問い合わせ先）

共生システム理工学類・教授 黒沢 高秀

電話：024-548-8201

メール：kurosawa@sss.fukushima-u.ac.jp